

好生館だより

KOSEIKAN DAYORI

2012.3

第14号



- 理事長挨拶 ①
- 館長挨拶:中国連雲港市の病院との友好交流 ①
- 診療科紹介:心臓血管外科・肝胆膵内科 ②
- 看護部だより ③
- 健康講座 ④
- ベトナムでの医療支援 ④
- 豆知識:体に見合ったエネルギー量はどれくらい? .. ⑤
- 知っていますか?検査の話:輸血 ⑤
- 好生館ニュース:定年退職にあたり ⑥
- 新任医師の紹介 ⑥
- 外来医師一覧表 ⑦

Photo : 佐賀大学文化教育学部附属小学校6年2組の児童から千羽鶴と寄せ書きを頂きました。



地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館

〒840-8570 佐賀市水ヶ江一丁目12番9号
TEL 0952-24-2171 (代表) FAX 0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>

ごあいさつ



理事長
十時 忠秀

好生館と重粒子線がん治療センターは医療機能連携協定を結びました。二つの施設は佐賀県が二大医療プロジェクトとして位置付け計画・準備しているものです。佐賀県の医療水準の向上と心と体に優しいがん治療目的で平成25年春、両施設は、ほぼ同時に佐賀市嘉瀬町と鳥栖市に新築オープン予定です。

重粒子線でがん治療が出来る施設は日本で四箇所目（先行施設は放医研重粒子医科学センター・千葉県千葉市、兵庫県立粒子線医療センター・兵庫県たつの市、群馬大学重粒子線医学研究センター・群馬県前橋市）九州では初めての施設です。これまでは遠くに行かないと受けられなかった最先端の治療が佐賀県で受けられるようになります。

今回の協定の目的は、地方独立行政法人佐賀県立病院好生館と九州国際重粒子線がん治療センター（愛称：サガハイマツ）の双方が重粒子線がん治療に関する

医療連携機能を推進することにより、がん患者の治療に寄与しようとするものです。

そのための医療機能連携事項は、

- (1) 患者の紹介・受け入れ
- (2) 人事交流を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化、です。

患者の紹介・受け入れに関しては、サガハイマツはすでに九州・山口地区の医学部を持つ12大学とは協力関係にありますが、一般の医療施設との協定は初めてです。外来治療に特化したサガハイマツは、近隣の医療施設との連携は欠かせません。好生館新病院では、がん・循環器疾患・救急医療に力を入れる予定です。サガハイマツと連携することにより、良質ながん治療の幅が広がる事が期待できます。お互いが協力して佐賀の、九州のそして西日本のがん治療の向上に努めたいと考えています。



館長
樗木 等

連雲港市第一人民病院と友好交流覚書を調印しました

東北大震災が経過して一年ですが、新たな段階の復興と、辰年にちなんで少しでも上昇気運となります様に祈念します。

平成24年1月18日に佐賀県と上海間で春秋航空が就航しました。第一便で上海空港、虹空港を経由して連雲港空港に到着しました。連雲港市は中国江蘇州にあり徐福の出身地、西遊記などのゆかりの地です。

連雲港市と佐賀市は姉妹都市の関係で交流があり、昨年、第一人民病院が好生館にも訪問されました。この後、連雲港市第一人民病院の60周年記念式典に理事長が招待され、今回の友好交流覚書調印の話に繋がりました。

第一人民病院は背景人口700万とも言われ、1800床の大病院です。2002年ドクヘリ導入、歯科口腔科の充実、脳卒中と腎臓病は国家プロジェクトの研究などの特徴があります。

特筆すべきは被爆治療施設を建設中で9割程度完成しており、6月に稼動予定とのこと。被爆対象の患者は専用の救急車などで地下に運搬され直ちに除染室へと向かい、各種除染部門、全身ガイガーカウンターなどが用意され、汚染度や障害の程度で軽症から重症に分類され観察室、病棟に移ります。無菌室の個室も十分に用意されています。スタッフとして専属の2チームが用意されているそうです。運用後に佐賀県や好生館が研修見学に行くのは極めて有用と思われます。

2泊3日の強行、熱烈歓迎の西遊記を簡単に報告しました。



李院長との調印

【診療科紹介】心臓血管外科



部長
内藤 光三

当科では、患者さんの体に負担をかけない低侵襲心臓血管手術を行っています。その代表的なものとして

- (1) 心拍動下冠動脈バイパス術
- (2) 経カテーテル的ステントグラフト内挿術があります。

(1) 心拍動下冠動脈バイパス術：
平成24年2月18日に天皇陛下が受け

られた心臓手術が心拍動下冠動脈バイパス術です。従来は人工心肺装置を使用し、一時的に心臓を止めて冠動脈バイパス術を行っていましたが、この方法では脳梗塞や出血の合併症が多く、患者さんに与える負担も大でした。しかし心拍動下冠動脈バイパス術では、心臓を止めることなく動かしたまま、特殊なスタビライザーという器具で固定し冠動脈を吻合します。医療器具の進歩と心臓外科医の手技向上により、患者さんに負担の少ない方法が可能となり、術後回復も良好で早期に退院、社会復帰ができます。内胸動脈という開存性の良い血管をバイパス材料に使用することで、術後長期に質の良い生活ができるようになりました。

侵襲の少ない心臓血管手術とは？

(2) 経カテーテル的ステントグラフト内挿術：腹部大動脈瘤や胸部大動脈瘤は、無症状の事が多く、気付かずに無治療していると増大し破裂してしまう恐ろしい病気です。標準的な術式は、開腹あるいは開胸して一時的に大動脈を遮断し大動脈瘤を人工血管に置換する方法ですが、この方法は出血や臓器障害を起こす可能性が高く、手術成績も満足いくものではありませんでした。しかし最近、足の付け根の動脈からステントグラフト（人工血管とステントを組み合わせたもの）をカテーテルにて大動脈瘤の中に留置できるようになり、手術翌日には歩行、1週間程度で退院可能となりました。

当科ではこれらの手術方法を早くから取り入れ、治療成績の向上に努めています。さらに来年春に開院する新病院では、ハイブリッド手術室（血管造影装置を装備した手術室）を設置し経カテーテル的人工置換術にも対応できる体制を整えています。佐賀県の皆さまが、佐賀県で最新の治療を受けられるようにしたいと考えています。

【診療科紹介】肝胆膵内科



部長
川添 聖治

当科は専門医4名、医員1名、初期研修医1～2名により肝臓・胆道・膵臓疾患診療に取り組んでいます。専門外来と腹部超音波検査を月～金の毎日午前中に行っております。

◆ **肝がん撲滅のための抗ウイルス治療**

佐賀県の肝がんによる人口10万人あたりの死亡率は、11年連続で全国ワースト1位です。2009年は、全国平均26.0に対し、なんと佐賀県は45.7という高さで、原因の約9割がB型、C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎です。この状況を打破すべく、C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療を積極的に行っています。またB型慢性肝炎に対しては核酸アナログ製剤投与により多くの方が改善しています。当院は佐賀県より肝炎専門医療機関の認定を受けており、研修を積んだ特任肝炎コーディネーターと看護師の計4名を外来に配置し、常に患者さんの状態を的確に把握し、治療に関する相談に素早く対応出来るようにしております。

◆ **肝がんの最新治療**

肝がん治療の主力は外科的切除、ラジオ波焼灼、肝

肝がん撲滅!!

動脈塞栓術ですが、近年内服の抗がん剤（ソラフェニブ）が導入され、進行がんの患者さんの治療の道が開けました。さらに当科では新規分子標的薬や再発予防薬などの第2相、第3相臨床試験を行っており、他の病院では受けることができない次世代の最新治療を選択することができます。

◆ **胆膵疾患の最新治療**

胆管結石症の患者さんが増加しており、経皮的ドレナージ術、内視鏡的膵胆管造影、乳頭切開術を年間200例以上行っています。また膵がん患者さんも非常に増加しており、超音波内視鏡下細径針膵腫瘍生検の導入、進行がんへの全身化学療法、術後維持療法の臨床試験参加などに積極的に取り組んでいます。

◆ **病診連携**

「インターフェロンマイカルテ」、「肝がん連携パス」などを使い、ご紹介いただいた先生方との緊密な連携を行うとともに、患者さんが安心して療養できる環境作りを心がけております。医学的根拠に基づいた最新の高度医療を行います。肝胆膵疾患について、いつでもお気軽に御相談ください。

5階病棟は、小児科・小児外科・産婦人科の小児と女性の混合病棟です。

病気に苦しんでいる子ども達と付添う家族、妊娠・出産により新しい家族を迎えるお母さん、生まれたばかりの赤ちゃん、手術を受ける女性の患者さんなど幅広い年齢の患者さんに寄り添える細やかな看護ケア目指しています。

入院環境から感じるストレスが少なく心が和める優しい雰囲気のある環境作りとして、病棟内の壁面に季節感のある絵や子どもらしいイラストを飾り付けています。エレベーターホールの掲示板には「季節」をテーマにしたイラスト展示、季節を取り入れた行事を行っています。「5月鯉のぼり」「8月ひまわり」「10月ハロウィン」「2月節分」等、毎月「季節」を楽しめるテーマを決め、イラストの選択やレイアウトなど趣向を凝らして作成しています。入院している患者さんは勿論、職員も心待ちにし、心を和ませる存在となっています。12月には、クリスマス会を開催しました。看護師によるハンドベルの演奏、医師によるダンス、絵本の読聞かせ、サンタクロースからのプレゼントもあり、子ども達は目を輝かせて、たくさんの笑顔であふれていました。



看護部の「さわやかさん」紹介

看護部の福利厚生委員会では、各部署において接遇・身だしなみが素敵な「さわやかさん」を毎月で紹介し、接遇モデルとして活躍しています。選考基準は、①身だしなみが整っている ②笑顔で対応している ③挨拶がきちんとできる ④言葉使いや対応が丁寧であることです。7月から開始した「さわやかさん」を紹介します。

<p>7月</p> <p>緩和ケア病棟</p>	<p>8月</p> <p>外 来</p>	<p>10月</p> <p>4階西病棟</p>	<p>11月</p> <p>4階東病棟</p>	<p>12月</p> <p>5階病棟</p>	<p>1月</p> <p>6階西病棟</p>	<p>2月</p> <p>6階東病棟</p>
-------------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

【健康講座】

血液・体液曝露対策について



感染管理
認定看護師
富田 泉

医療従事の際に病原体の曝露によって生じる職業感染の危険に、我々は常に曝されています。針刺し切創や血液・体液曝露は、血液媒介微生物への感染の危険があり、主な病原微生物としてHBV、HCV、HIV等が挙げられます。特にHBVでは、発端患者がHBs抗原陽性の場合、針刺し時の感染成立の可能性は約30%と高く、実習生等を含め医療従事者は、HBsウイルス抗体価検査を行うとともに、曝露後ではなく、事前のワクチン接種が重要とされています。

我々感染制御部では、上記の①HBVワクチン接種の推奨に加え、②標準予防策遵守の徹底 ③廃棄容器の適切な設置と安全器材導入の検討（安全装置器材の実

技教育）④曝露時の適切な処置の指導及び経過観察（針刺しサーベイランスの実施等を含む）を行っています。

現場の声をもとに、我々医療従事者がより安心・安全に業務できる環境を整え、良い医療を提供できるよう励んでいきたいと考えています。御意見・御質問等ございましたら御相談ください。



ベトナムでの医療支援

日本口唇口蓋裂協会ベトナム診療隊に参加して



小児科医師
磯村 直子

毎年12月に行われている日本口唇口蓋裂協会のベトナムへの医療支援に参加しています。私自身、今年で4回目の参加になりました。

日本口唇口蓋裂協会は、口腔外科医の組織する非営利ボランティア協会です。その活動の一つが海外医療援助です。ベトナムでは主に口唇裂・口蓋裂の小児に対して無償で外科的治療を行っており、20年近く継続して行われています。診療隊メンバーは総勢50名前後、口腔外科医は佐賀大など7大学から2～3名ずつ参加します。あとは麻酔科医・形成外科医・看護師・学生などが数名ずつ+小児科医1人です。加えてベトナム人通訳も5～6人同行します。私は、佐賀大学口腔外科名誉教授の香月武先生からのお声かけで参加しています。

診療は毎年同じ省の同じ病院で行われ、手術日は4～5日間、毎年計50名前後の患者を治療します。手術日前後に準備・診察と後片付けを行うので、全9～10日間の日程です。患者の年齢は生後2か月から成人までさまざま、小児科医の仕事はその患者すべての術前の内科的診察と術後管理です。スケジュールはハードですが、違う環境での診療に毎年新鮮な気持ちで臨んでいます。また現地の小児科医や産婦人科医との意見交換など、学ぶことも多く良い経験をさせてもらっています。

なかには毎年診療を受けに来る子もいて、成長を目

の当たりにでき、またその両親も私を覚えてくれていること、本当に嬉しく思いました。当たり前ですが、診療時に見せるこどもの反応や態度、親の子に対する言動などは国が違っても一緒なのだと、言葉は通じなくても表情でコミュニケーションできるんだと、実感しています。

今後も参加ができるようなら、小児科医としてさらに尽力して治療に関わっていきたくと思っています。またこのミッションがより発展して継続していくことを切に願っています。



豆知識

体に見合ったエネルギー量はどれくらい？



栄養管理長
小根森智子

食べたいものを好きなだけ食べることができればいいのですが、自分の体が必要とする量より多ければ肥満など生活習慣病の原因になりますし、少なければ栄養失調になってしまいます。それでは、いったいどのくらいが体に見合った、つまり1日に必要とするエネルギー量なのでしょう。いろいろな計算方法がありますが、簡単にできる方法を一つご紹介します。

まず、身長にちょうどよい体重、標準体重を計算します。

標準体重(kg) = 身長(m) × 身長(m) × 22

たとえば、身長160cmの方の標準体重は、1.6(m) × 1.6(m) × 22 = 56.32 約56kgになります。

この標準体重に、あなたの日ごろの活動量に見合った体重1kgあたりの必要エネルギー量をかけます。

1日に必要なエネルギー(kcal) = 標準体重(kg) × 標準体重1kgあたりに必要なエネルギー

活動別・標準体重1kgあたりの1日に必要なエネルギー量	
軽い労作（デスクワークが主な人、主婦など）	25～30kcal
普通の労作（立ち仕事が多い職業の人）	30～35kcal
重い労作（力仕事が多い職業の人）	35kcal以上

先ほどの身長160cmの方が、デスクワークが主なサラリーマンだったら、56(kg) × 25～30(kcal) = 1400～1680kcalくらいが1日に必要なエネルギー量になります。

最近は栄養成分表示をしている弁当や飲食店も増えています。計算した1日の必要エネルギー量の1/3を目安に選ぶと、多すぎず少なすぎずちょうどよい量を食べることができますので参考にしてください。

※なお、食事療法中でエネルギー量を指示されている方は、体の状態を見て主治医が決めていますので、この計算で出てきた数字にかかわらず、指示された量に従ってください。



検査部主任技師
松延富与子

知っていますか？検査の話：輸血

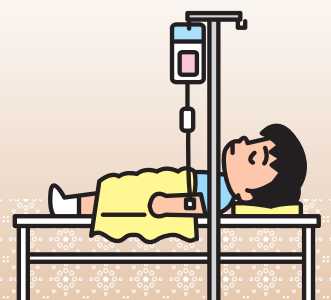
輸血には、同種血輸血と自己血輸血があります。

同種血輸血とは、献血者による他人の血液（日本赤十字血液センター）を体内に入れることです。量及び機能低下の治療として、貧血の患者さんには赤血球濃厚液、凝固因子が少ない患者さんには新鮮凍結血漿、血小板の少ない患者さんには血小板濃厚液が輸血されています。

自己血輸血とは、手術を受ける際、輸血が必要と予想される患者さん本人の血液を事前に採取して保存し、手術時もしくはその後使用するものです。

同種血を輸血する場合、十分な検査を行っています

が、ときに副作用を起こすことがあります。もちろん自己血が100%安全ではありませんが、感染症や副作用の心配はありません。自己血を採取できる条件がいくつかあり、貧血の方、細菌感染にかかっている方、不安定狭心症をお持ちの患者さんは自己血採血の適応ではありません。当院では、泌尿器科をはじめ整形外科、産婦人科、脳外科、心臓血管外科、内科などで自己血採血を行っています。手術まで十分な時間があり、全身状態が良好な方は主治医に相談されてはいかがですか？





副事務部長
浦川信治郎

平成21年4月の人事異動で着任し3年間お世話になりました。
なかでも、地方独法への移行は、今まで行政に携わってきた私にとっては、思い出に残る出来事でした。新病院開院まで1年、「病む人、家族、そして県民の心に添った最良の医療」を目指し、更なる好生館の発展を願っております。歴史ある好生館に勤務できて光栄でした。ありがとうございました。



薬剤長
奥平 献

好生館新時代
退任にあたり長いようで短かった好生館のことを振り返っています。150年の歴史と「好生館新時代」に書かれています。しかし、「幕末から廃藩置県までの西洋医学」吉良枝郎著によるとさらに古く22年も前に医学校「好生館」を開設とあります。まさに幕末の新時代であったことが窺い知れます。これからの時代を切り開かれることを祈念し、見守っていきたく思います。



放射線部技師長
吉富 正裕

私が好生館に奉職したのは昭和49年4月、当時は放射線技師8名で一般撮影や透視撮影が主な業務で、その年にいきなり九州地方会で発表させられたことを思い出します。平成11年より唐津保健所等に5年間、行政での仕事をさせてもらったことが病院の技術的なことしか知らなかった私にとって、良い経験となり今でも財産となっています。
平成22年の独立法人化と同時に法人職員に承継しましたが、延べ38年間診療放射線技師として充実した時を過ごすことができたのも私の出逢ったたくさんの方々のお蔭だと思っております。いよいよ来年移転しますが、今後も我が好生館の益々の発展を願ってやみません。本当にありがとうございました。



専従リスクマネージャー
横田 栄子

3月をもって定年退職という人生の節目を無事に迎えることができました。何かホッとしたような安堵感を覚えます。「光陰矢の如し」と申しますが、月日のたつのは本当に早いもので、今39年間の足跡が走馬灯のように脳裏を駆け巡っています。今はただ、たくさんの人たちに支えられて、ここまで仕事を続けてこれたことに感謝の気持ちで一杯です。
ありがとうございました。これからも好生館の益々の発展をお祈りいたします。



緩和ケア
看護師長
千住 豊子

昭和52年12月1日、当病院の新築移転の10日前に看護師として採用になり、35年間お世話になりました。多くの看護職員や他職種の方々の御協力を頂き、無事、定年を迎える事ができました。感染委員、糖尿病患者の会発足、心臓リハビリテーションの発足、佐賀県腎不全看護研究会発足、癒しの空間プロジェクトなどに参画できたことは楽しい思い出です。
来年は嘉瀬に病院が新築移転します。これからも、県民の皆さんに選んで頂ける病院でありますように、皆様のご活躍をお祈りいたします。最期まで、素晴らしいスタッフやボランティアの方々とお仕事できたことを感謝いたします。ありがとうございました。

新任医師の紹介 (平成24年1月1日～3月31日)

診療科目	氏名	顔写真	専門分野	診療科目	氏名	顔写真	専門分野
脳神経内科	関 賢太 医員		神経内科	耳鼻咽喉科	松下 英友 医長		耳鼻咽喉科 頭頸部外科

外来医師一覽表

(平成24年3月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金								
内 科	午 前	内科新患	担当医	権藤 久司 担当医	勝田 仁	担当医	権藤 久司 担当医							
		呼吸器	新患	岩永健太郎	森塚 達也	森塚 達也	岩永健太郎	川浦 太	岩永健太郎					
			再来	森塚 達也	川浦 太	岩永健太郎	川浦 太	岩永健太郎						
		肝臓・胆道・膵臓		藤本 優 大塚 大河	秋山 巧	川添 聖治 大塚 大河	川添 聖治	藤本 優 秋山 巧						
		消化器(胃・腸)		富永 直之	緒方 伸一	樋口 徹	緒方 伸一	富永 直之						
		血液	新患	近藤誠司/桑原伸夫	桑原 伸夫	近藤 誠司	桑原伸夫/近藤誠司	松石 英城						
			再来	松石 英城	桑原 伸夫	松石 英城	桑原伸夫/近藤誠司	権藤 久司						
		腎臓・透析		大塚 伸	中村 恵	光武 涼子	大塚 伸	中村 恵						
		糖尿病内分泌		土居 隆志		土居 隆志 勝田 仁		土居 隆志						
		腫瘍内科 (再診・院内コンサルト)		嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫						
		感染症 (再診・院内コンサルト)		福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美						
		消化管内視鏡		緒方、樋口	川添、藤本	緒方、富永(直)	秋山、富永(直)、樋口	緒方、樋口						
		気管支鏡		岩永、川浦			岩永、森塚							
腹部エコー		川添、秋山	大塚(大)	藤本、秋山	藤本、大塚(大)	川添、大塚(大)								
透 析		中村	大塚(伸)	中村・大塚(伸)	中村	大塚(伸)								
外 科	午 前	消化器・一般	新患	田中 聡也	手術	田中 雅之 佐藤 清治	手術	廣橋 喜美 橋口和義/志田雅明	手術	救急患者のみ(当番医)	手術	佐藤 清治 田中聡也/田中雅之 小池 健太	手術	
			再来	廣橋 喜美										
		呼吸器	新患		光岡 正浩					光岡 正浩				
			再来		光岡正浩/岡本裕介					光岡正浩/岡本裕介				
小児外科		生野 猛/高橋由紀子	手術	江角元史郎		生野 猛/高橋由紀子	手術							
眼 科	午 前	担当医 (新患のみ)	手術	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光	手術	荒木 理子 担当医(新患のみ)	手術	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光			古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光			
産婦人科	午 前	婦人科	安永 牧生 保博 剛史 小野	安永 牧生 荒木 保博	手術	手術	荒木 保博 小野 剛史	手術			手術			
		産 科		小野 剛史			安永 牧生							
小 児 科	午 前	市丸 智浩 熊本 愛子 荒木 薫		今吉美代子 宮村 文弥		市丸 智浩 熊本 愛子		市丸 智浩 磯村 直子			今吉美代子 磯村 直子 荒木 薫			
	午 後	アレルギー外来 /予防接種/乳児健診		予防接種		予防接種/ アレルギー外来		アレルギー外来 1ヶ月検診			予約外来			
	午後(時間外)	その日の担当が診察します。												
耳 鼻 いんこう科	午 前	手術		宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友	手術	宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友		宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友			宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友			
皮 膚 科	午 前	武下 泰三 北 和代		武下 泰三 北 和代		武下 泰三 北 和代		手術			武下 泰三 北 和代			
	午後 (16:00~)										予約外来(再診のみ)			
泌尿器科	午 前	徳田 倫章 諸隈 洋志 内野 太郎 阿部 立郎		徳田 倫章 内野 洋志 阿部 立郎		手術		徳田 倫章 諸隈 太郎 阿部 立郎			諸隈 太 内野 洋志			
整形外科	午 前	野口 康男 佛坂 俊輔 前 隆男 佐々木 宏介 松下 昌史		竹内 直英 (新患)	手術	佛坂 俊輔 前 隆男 佐々木 宏介 松下 昌史		佛坂 俊輔 (新患)	手術		野口 康男 前 隆男 佐々木 宏介 竹内 直英 松下 昌史			
	午後	予約外来									予約外来			
放射線科	消化管診断外来				梶原 哲郎		梶原 哲郎							
	画像検査 部門外来		野尻 淳一 真武 邦茂 (梶原 寿浩)		川野 倫作 (野尻 淳一) 寿浩		真武 邦茂 (川野 倫作)		川野 倫作 (野尻 淳一)			川野 倫作 (野尻 淳一) 寿浩		
	消化管造影		梶原 哲郎		梶原 哲郎				真武 邦茂			梶原 哲郎		
	放射線治療		渡辺 哲雄		渡辺 哲雄 (徳丸直郎:午後)		渡辺 哲雄		渡辺 哲雄			渡辺 哲雄		
脳神経内科	午 前	新患 再来	関 賢太 高島 洋		高島 洋	関 賢太 岩崎めぐみ		岩崎めぐみ			岩崎めぐみ 高島 洋			
	午後 (14:00~16:00)							パーキンソン病 外来(予約制)						
脳神経外科	午 前	坂田 修治 萩原 直司		萩原 直司		坂田 修治 伊藤 寛		手術			坂田 修治 伊藤 寛			
精 神 科	午 前	原 富英		原 富英		原 富英		原 富英			原 富英			
	午後 14:30~	物忘れ外来(予約制)												
循環器内科	午 前	貞松 研二 塩見 哲也		吉田 敬規 古閑 靖章		吉田 敬規 井上 晃太		心カテ			林田 潔 塩見 哲也 三根 大悟			
	不整脈外来	永元 康嗣				永元 康嗣								
心臓血管 外 科	午 前	手術		内藤 光三 村山 順一		手術(午前中のみ 紹介・予約:樗木等)		内藤 光三 村山 順一			手術			
緩和ケア科	午 前	小杉 寿文 濱田 献						小杉 寿文 濱田 献						
人間ドック	一 般	井之口香映子		井之口香映子		権藤 久司		井之口香映子			井之口香映子			
	脳ドック	高島 洋		坂田 修治							高島 洋			
	心臓ドック								樗木 等/林田 潔					

【発行】 ニュースレター小委員会
(問合せ先) 広報室 0952-28-1151